

『新・UFO入門』は漫棚通信以外からも改竄コピーしているという指摘

- 「六〇年代のハルマゲドン」と『新・UFO入門』の対比 (同一&類似箇所を左右対比の表にしたもの)
- 2008年2月4日、パクられた新戸雅章氏が意見表明した。 [「新・UFO入門」ふたたび](#)

「新・UFO入門」ふたたび

ネットを検索していたら、以前、このブログで誉めた唐沢俊一氏の「新・UFO入門」(幻冬舎新書)が、わたしのUFO論「六〇年代のハルマゲドン - UFO教団CBAの興亡」から何力所か盗用したという指摘に出会った。この問題ではほかにも盗用されたとされる人がいるようで、まとめサイトが立ち上がっている。そこでわたしと唐沢氏の文章が比較できるようになっている。あらためて読むと、たしかによく似てはいる。わたしはもともと記憶力が悪く、書いた物はすぐに忘れるたちなので、最初に読んだときには気づかなかった。似ているなどは思ったが、こちらの文章も文献をまとめたものなので、そのせいだろうかくらいにしか考えなかった。これだけ似ていると、やはりいろいろ勘ぐられるのも仕方がないかもしれない。わたしも物書きの端くれなので、引用や参照の問題が微妙なことはよく承知しているつもりだ。それだけに対応には慎重を要することはいうまでもない。この問題についてこれ以上言うつもりはないが、わたしのような無名の著者でも五分の魂はある。あまり軽く考えないほうがよいのではないだろうか。UFO史に戦後文化史(戦後サブカルチャー史や日本SF史)を読み込む唐沢氏の問題意識はわたしと重なるところが多い。その点で氏の切り口を高く評価した本ブログの記述は間違っていなかったと思う。それだけに、こうした問題が起こるのは大変に残念である。うっかり間違いはだれにでもある。今回の件でもし思い当たる節があるなら、唐沢氏は素直に謝るほうがよいし、それが将来のためでもあるだろう。才能豊かな著者にはさらに慎重な配慮を期待すること切である。

(以下は、藤原敬之氏(無責任賛歌)および名無しさんによる盗作疑惑箇所の指摘。)

15 名前：無名草子さん[] 投稿日：2007/12/16(日) 22:59:02

<http://www.enpitu.ne.jp/usr1/bin/day?id=10788&pg=20070808>

しかし、唐沢氏が本気で漫棚通信氏に謝罪する意志があるのなら、本自体を完全に絶版、封印するくらいの潔さを見せてもよかったですのではないかと思います。

『新・UFO入門』を子細に読んで行けば分かることだが、「ペースト」は「漫棚通信ブログ」からだけではないのだ。

『新・UFO入門』の第5章「UFO群、ピラミッドに舞う！」ではCBA事件が取り上げられているが、これが、新戸雅章氏が『歴史を変えた偽書』(ジャパン・ミックス社)に掲載した文章をコピーペーストしたと思しき部分がいくつか「残って」いるのである。

新戸氏の元の文章はネットにも掲載してあるので、そちらを参照していただきたい。

「六〇年代のハルマゲドン - UFO教団CBAの興亡」

<http://www.asahi-net.or.jp/~ve3m-snd/shindo/essay/cba.html>

全文の引用はこの日記にはとても入りきれないので、いくつかの要所だけを「引用」させていただく。

例えばこの新戸氏の文章の「地軸は傾く」の項に、このような文章がある。

「八月になって、Cは選ばれたメンバーにだけ伝えられることになった。会合に集まった数十人のメンバーに対して、幹部がレイ・スタンフォードの訳書を示しながら、Cが間近に迫っていること、われわれはその準備をしなければならないことなどを説いて、団結と協力を促した。この頃、期日は一九六〇年から六二年の間に設定されていた。」

比較して、『新・UFO入門』の108ページには以下のような文章が見られる。

「会合に集まった数十人のメンバーに対し、幹部がレイ・スタンフォードの訳書を示しながら、カタストロフ(CBAはこれを、頭文字の“C”で表現した)が間近に迫っていること、その準備が急務であることなどを説き、団結と協力を促した。そのCの期日は、1960年から62年の間であると説明された。」

漢字を数字に変更したりの改変はあるが、ほぼ同じ文章であることはお分かりいただけるだろう。

16 名前：無名草子さん[] 投稿日：2007/12/16(日) 23:00:10

(>>15続き)

また、次のような箇所の変更もある。

元の新戸氏の文章(「りんご送れ」の項目)はこうだ。

「それによると、Cは地軸の急激な傾斜により起こる全地球的規模の大洪水である。これによって多くの生物が死滅し、陸と海は入れ代わり、新しい陸地では三年間は作物が育たない。しかし会員とその家族は、その前にUFOで飛来した宇宙の兄弟たちによって救出される。

Cの期日は十日前に『「りんご送れ」シー』という電文等によって知らされる。その時は

登山の用意をし、一週間分の食糧を持って、家族とともに指定の集合場所に行け、一週間前にはラジオ、テレビを初め、あらゆる報道機関を通じて、Cの到来が告げられる。その後、否定の報道がなされるが、最初の報道を信じて行動すれば一般人であっても救済される可能性が高い。救出された者は他の遊星で再教育を受け、地球に輝かしい黄金時代を築く……。」

これが、唐沢氏の著書の111ページから112ページにかけて、以下のような文章に若干の「書き換え」が施されてペーストされている。

「ともかくも、C B Aメンバーたちには、そのCは全地球的規模の大洪水であり、これによって陸と海が入れ代わるほどの大変動が地球にもたらされるが、会員とその家族は、その前にU F Oで飛来した宇宙の兄弟たちによって救出される、と告げられた。

そして、救出の具体的な手順も説明された。Cの期日10日前に『「リンゴ送れ」シー』という電文が会員の元に届けられる。その時は登山の用意をし、1週間分の食糧を持って、家族とともに指定の集合場所に行くこと。1週間前にはラジオ、テレビをはじめ、あらゆる報道機関を通じて、Cの到来が告げられる。その後、否定の報道がなされるが、最初の報道を信じて行動すれば一般人であっても救済される可能性が高い。救出された者は他の遊星で再教育を受け、地球に輝かしい黄金時代を築く……。」

17 名前：無名草子さん[] 投稿日：2007/12/16(日) 23:00:47
(>>16続き) パクリ元の人は本を褒めているけど……という話ですが

そりゃ、シロウトが自分のブログなどで本や映画の紹介をするときに、amazonなどの「あらすじ」をコピペするようなことはいくらでもあるだろうが(それも厳密にはよくない)、それはあくまでシロウトのレベルの話である。プロの作家がやっていいことではない。

いつごろからののか、最初からなのかは分からないが、唐沢氏の中にある「プロ意識」が麻痺していたことは残念ながら疑いようのないことのようにある。

新戸氏自身は、唐沢氏の『新・UFO入門』を読まれていて、自身のブログでは「本書は、U F Oという古いテーマに新しい切り口をつけ、そこを通して日本の戦後文化や戦後社会のありようにまで照明を当てた好著である。一読をおすすめしたい。」とまで絶賛している。

<http://blog.goo.ne.jp/tesla1856/m/200706>

どうやら、自身の文章が殆どそのまま使われていたことにはお気づきでなかったようであるが、この一連の盗作騒ぎにはどのようなご意見をお持ちであろうか。

<http://love6.2ch.net/test/read.cgi/books/1197812577/15-17>

- パクリの指摘：[2007年08月08日\(水\)『新・UFO入門』\(唐沢俊一\)の盗作疑惑について-無責任賛歌](#)
- パクられ元：[六〇年代のハルマゲドン - U F O教団C B Aの興亡](#)

盗用疑惑 3箇所目の指摘

352 名前： 8QVxIPkRfc [sage] 投稿日：2008/01/26(土) 18:19:51
次は新戸雅章『六〇年代のハルマゲドン - U F O教団C B Aの興亡』から。
(<http://www.asahi-net.or.jp/~ve3m-snd/shindo/essay/cba.html>)

コピペ疑惑は、藤原敬之氏が既に2箇所指摘しています
(<http://www.enpitu.ne.jp/usr1/bin/day?id=10788&pg=20070808>)
が、もう1箇所ありました。

『六〇年代のハルマゲドン』

U F O研究団体は一般に、U F Oの存在を科学的、実証的に研究しようという「科学派」と、U F Oの存在を前提に異星人とのコミュニケーションを目指す「コンタクト派」とに大別される。J F S Aや高梨純一の「近代宇宙旅行協会」(M F S A)などが前者の代表格で、C B Aは後者の代表格である。

『新・UFO入門』p.82

U F O研究団体は一般に、U F Oの存在を科学的、実証的に研究しようという「科学派」と、U F Oの存在を前提に異星人とのコミュニケーションを目指す「コンタクト派」とに大別される。J F S Aも、また高梨純一氏の設立した、これも日本U F O研究団体の草分け「近代宇宙旅行協会」(M F S A、どうもこういう団体は名称が似通っていてややこしい)などが前者の代表で、C B Aは後者の代表格である。

[【温泉には】盗作屋 唐沢俊一19【用心棒】](#)

[パクリの指摘](#)に戻る